



令和7年度

学校要覧

令和6年(2024年)4月、条南中学校との統合を経て、新たな未来に向かって歩み始めた新生氣仙沼中学校

学校教育目標

人間、社会、自然への愛と畏敬の念を深め、豊かな知恵と創造性に満ちた教育によって次のような生徒の育成を目指す。

「人間性豊かで 向上心に満ち 夢をもって 磨き合う生徒」

めざす生徒像

- (1) 広い視野で考え、表現・実践できる生徒
- (2) 豊かな心を持ち、相手の立場や意思を尊重し、共に支え合う生徒
- (3) 心身ともに健康で、たくましい生徒



一 平和の象徴 波安の
山影うつす 鼎浦
生の芽ばえ育みて
あたらしき時代の礎と
理想かざして磨きあう
学びの園ぞ わが母校

二 五つの信條いただきつ
磯うつ濤にこころ練る
濱見が丘の高楼に
天翔ける意氣たぎらせて
若き瞳の励みあう
学びの園ぞ わが母校

三 文化の潮 東西の
一つに融けん海の郷
世代も同じ若人が
うるわしき社会を創らんと
愛と光に和みあう
学びの園ぞ わが母校

気仙沼中学校 校歌

作詞 上坂 西三
作曲 山田 耕策

気仙沼市立氣仙沼中学校

〒988-0073

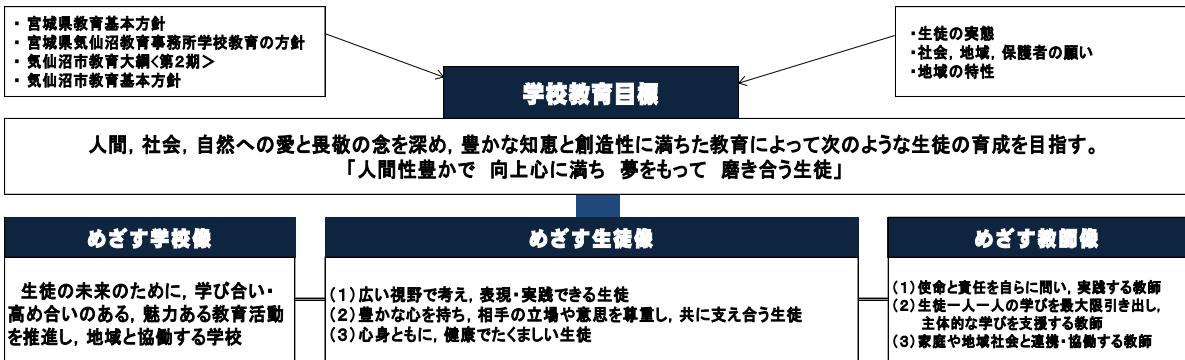
宮城県気仙沼市笹が陣4番1号

TEL:0226(22)6989 FAX:0226(22)6988

E-mail:kesennuma-chu@kesennuma.ed.jp

令和7年度 学校経営ビジョン

気仙沼市立気仙沼中学校



学 校 経 営 方 針					
(1)自ら考え学ぶ授業づくりの実践 (2)生徒のよさを引き出し、自己肯定感を高めるための確かな支援 (3)「居がい」のある安全・安心な学校づくりと自律的な学校生活を送るための支援と指導 (4)社会の創り手として、地域とつながり、地域を愛し、社会に貢献する学びの実現 (5)学びの継続性を確保するパートナー学校群による「小中連携教育」の推進 (6)コミュニティ・スクールの活性化による学校の魅力化の実現					

重 点 努 力 事 項		
■確かな学力をそなえる 自ら考え学び、授業で「楽しい・分かる・できる」を味わうことができるようになる。	■豊かな心をはぐくむ 人権を尊重し、温かい人間関係を築くことができるようになる。	■からだと心をきたえる 目標に向かい、体力向上や健康増進に取り組むことができるようになる。
○個別最適な学びと協働的な学びの充実 ○生徒が安心して授業に参加し、お互いに認め合い、高め合う学級づくり ○校内研究推進による授業改善 ○家庭学習と運動した授業づくりの推進 ○ICT教育推進のための環境整備と生徒の活用能力の推進 ○英語教育の充実	○学校市活動の更なる活発化と自己肯定感を高めるための支援 ○認め合いを基軸とした居心地のよい学年及び学級づくり ○感謝の気持ちを大切にして、心に届くあいさつの実践 ○お互いを思いやり、協働の精神を培う縦割り活動の実践 ○勤労の尊さや人の役に立つ喜びを醸成する清掃活動や緑化活動、環境整備活動の充実	○規則正しい生活習慣の定着に向けた、家庭との連携による「早寝、早起き、朝ごはん」の実践 ○徒歩通学の啓発と屋外での運動の推進 ○健康教育及び食育等の推進 ○自己目標に向かって粘り強く取り組む姿勢と達成感醸成のための運動の実践 ○心とからだのバランスを重視した成長の推進
具体的な内容		

<学力の保障と成長の保障を支える主な活動>			
■校内研究及び教科指導の充実 ■単元指導計画の充実 ■実効性のある家庭学習(AIドリル等の活用) ■探究学習の推進 ■外部講師の積極的な活用 ■ICT(タブレット等)を活用した授業づくり	■道徳教育の充実 ■特別活動の充実による集団生活の向上 ■協働的な学び ■自主的・自治的な学校市(生徒会)活動の実践 (代表委員会、委員会活動、集会活動、縦割り班活動)	■体力・運動能力の向上 ■運動部活動の活発化 ■保健委員会の生徒による活動 ■メディア・コントロール・チャレンジの推進 ■感染症対策の徹底	



◇学校運営協議会の設置と活動

◇地域と連携した学校経営

◇豊かな体験活動

【気仙沼中学校学校市市民信条】

- 一、われら市民は日本国民であるとともに世界の一員として平和を愛好する。
- 一、われら市民は真理と正義に生き幸福を追求する。
- 一、われら市民は勤労と責任をもって学校の美化に努める。
- 一、われら市民は健康を旨とし純潔を尊び規則を守り学校市の秩序を維持する。
- 一、われら市民は個人の価値を尊重し敬愛と協力により明朗な学校市の建設を誓う。

【学級数・生徒数】

学年	学級数	男	女	計
1年	3	38(3)	38(3)	76(6)
2年	2	46(1)	29(2)	75(3)
3年	3	39(2)	48(2)	87(4)
計	8<4>	123(6)	115(7)	238(13)

() : 特別支援学級在籍生徒の内数 <> : 特別支援学級の外数

【教育課程の編成】

年間合計授業時数

領域 学年 教科	必修教科									道徳	学活	総合的な学習の時間	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保育	技・家	英語				
I	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

特別支援学級[すまいる1組(知的学級), 2組(自閉症・情緒学級), すまいる3組(病虚弱学級), すまいる4組(難聴学級)]

教科	国語	数学	音楽	美術	保育	技・家	英語	△	生活	自立	作業	道徳	学活	総合	合計
すまいる1(2年)	105	105	35	35	105	35	35	△	140	70	175	35	35	70	1015
すまいる1(3年)	105	105	45	45	105	35	70	△	175	70	175	35	35	70	1015
教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保育	技・家	英語	自立	作業	道徳	学活	総合	合計
すまいる2(1年)	105	105	140	105	45	45	105	70	105	70	△	35	35	50	1015
すまいる3(1年)	105	105	140	105	45	45	105	70	105	70	△	35	35	50	1015
すまいる4(3年)	105	140	140	140	35	35	105	35	105	35	△	35	35	70	1015

【主な行事予定】

月	行事
4月	始業式 入学式 避難訓練(地震・津波) 不審者対応訓練 PTA総会 市学力調査① 全国学力状況調査
5月	宿泊学習(1年) 市民大会(生徒会総会) 地区中総体
6月	I学期中間テスト 地区中総体陸上競技大会 合唱コンクール
7月	修学旅行(3年) 職場体験(2年) 地区駅伝大会 授業参観 吹奏楽コンクール地区大会 県中総体 教育相談
8月	教育相談 実力テスト(全学年) 学校保健委員会 吹奏楽コンクール県大会
9月	I学期期末テスト 小中合同引渡訓練 学校市選挙(生徒会選挙) 地区中体連新人大会
10月	I学期終業式 2学期始業式 Kフェス 運動祭
11月	教育相談 避難訓練(火災) 2学期中間テスト 指導主事学校訪問
12月	小学校6年生中学校訪問 授業参観 市学力調査② アンサンブルコンテスト地区大会
1月	実力テスト(全学年) 1年リースアート訪問
2月	授業参観 2学期期末テスト 3年生を送る会
3月	卒業式 東日本大震災追悼行事 震災遺構見学(1・2年) 修了式 離任式

気仙沼市立気仙沼中学校

〒988-0073 宮城県気仙沼市笹が陣4番1号
TEL 0226-22-6989 FAX 0226-22-6988
E-mail kesennuma-chu@kesennuma.ed.jp
WEBサト <http://www.kesennuma.ed.jp/kesennuma-cyuu/>
生徒数 238名
校長 佐々木伸



氣仙沼中學校 校歌

学 校 教 育 目 標

人間、社会、自然への愛と畏敬の念を深め、豊かな知恵と創造性に満ちた教育によって次のような生徒の育成を目指す。
「人間性豊かで 向上心に満ち 夢をもって 磨き合う生徒」

めざす学校像

生徒の未来のために、学び合い・高め合いのある魅力ある教育活動を推進し、地域と協働する学校

めざす生徒像

- (1) 広い視野で考え、表現・実践できる生徒
 - (2) 豊かな心を持ち、相手の立場や意思を尊重し、共に支え合う生徒
 - (3) 心身ともに健康で、たくましい生徒

めざす教師像

- (1) 使命と責任を自らに問い合わせ、実践する教師
 - (2) 生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する教師
 - (3) 家庭や地域社会と連携・協働する教師

学校市（生徒会）を中心とした生徒の主体的な活動の充実

気仙沼中学校では、学校を一つの市に見立て、生徒会活動を「学校市活動」と呼んでいます。これまで学校創設の歴史に基づき、生徒の自治的活動が推進されてきました。市長（生徒会長）を中心に、各委員会が主体となり、様々な生徒会活動が工夫されています。各種委員会活動を始め、運動祭、合唱コンクール等の学校行事も、生徒が自主的かつ主体となって練習を重ね、行事を成功に導いています。

小中連携（パートナー学校群）による学びの継続性の確保

今年度より、気仙沼小学校、新城小学校と連携し、中学校の専科教諭による「算数」の授業が実施・試行されています。小中の学びの継続性・連続性を大切にしながら、児童の学びの支援を行うとともに、小中の教科指導に関する意見交換、情報の共有を図り、より充実した教科指導、生徒理解に結びつける実践となっています。

学校経営方針

- (1) 自ら考え学ぶ授業づくりの実践
 - (2) 生徒のよさを引き出し、自己肯定感を高めるための確かな支援
 - (3) 「居がい」のある安全・安心な学校づくりと自律的な学校生活を送るための支援と指導
 - (4) 社会の創り手として、地域とつながり、社会に貢献する学びの実現
 - (5) 学びの継続性を確保するパートナー学校群による「小中連携教育」の推進
 - (6) コミュニティ・スクールの活性化による学校の魅力化の実現

合唱コンクール



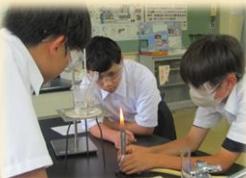
地域と連携した地域協働活動

今年度より、「学校運営協議会」が本格的にスタートし、コミュニティ・スクールとして地域の方々と連携した「協働」で実施される活動が協議されています。活動は「学習支援部」「環境整備部」「学校安全部」の3グループに編制され、「学習支援の在り方」「学習環境の整備」「安全管理の徹底」についてどのようなアプローチが可能か等、活発な意見が交わされております。地域とともににある学校として、より充実したカリキュラムを展開し、学校の魅力化に努めています。

ピカピカの目



理科の授業の様子



充実した学校安全指導

気仙沼中学校では、防災学習に加え「学校安全指導の充実」を図っています。「不審者対応訓練」「小中合同救命救急講習」「小中合同引渡訓練」や部活動中、登校中など様々な状況下を想定した「避難訓練」を実施し、生徒及び教職員の防災・安全意識の向上に努めています。

校歌